

令和 7 年度 第 2 回 青森支部評議会の概要報告

開 催 日 時	令和 7 年 10 月 24 日（金）10：00～12：00
開 催 場 所	全国健康保険協会青森支部会議室
出 席 評 議 員	大坂評議員、工藤評議員、神評議員、成田評議員、 藤沼評議員、前多評議員、吉田評議員（五十音順）
議 題	1. 令和 8 年度平均保険料率について 2. 令和 8 年度青森支部事業計画及び青森支部保険者機能強化予算について 3. その他（マイナ保険証の利用状況、オンライン電子申請について）
議 事 概 要 （主な意見等）	議題 1 について、事務局より資料に基づき説明。 ●令和 8 年度平均保険料率について 【学識経験者】 ・平均保険料率は 10％でいいということではないが、過去の財政推移や今後の社会情勢等を考えると現状は 10％で了承するしかない。平均保険料率の大幅な増減は避けるべきと考える。 【被保険者代表】 ・被保険者の立場から負担感が増しているのは切実に感じる。今後の構造的な不確定要素を考慮した場合に 10％は仕方ないが、極端な保険料率の変動は避けていただきたい。また、保険料率の地域格差の幅はできるだけ小さくすべき。 （事務局） ・保険料率の地域格差については資料で示したように、保険料率が高い水準の佐賀、徳島、北海道支部において、有識者の方の意見をいただきながら、どのような事業を実施すれば保険料率上昇の抑制につながるかを検討・実施するプロジェクトを進めている。 【事業主代表】 ・現在の準備金は何か事態があった場合、早い段階で枯渇する状況が考えられるため、留保しておくべき。平均保険料率は 10％維持で大きな料率の変動は望ましくない。青森支部として保険料率を下げる取り組みをするよう努力していくべきである。 議題 2 について、事務局より資料に基づき説明。 ●令和 8 年度青森支部事業計画及び青森支部保険者機能強化予算について

【学識経験者】

・医療費データを見ると、業種別で3業種が目立つが、この業種にピンポイントに対応するような具体的な取り組みはされているのか。

(事務局)

・業種に絞った取り組みは喫煙対策で、令和6年度は建設業関係に対し、令和7年度は運輸業へと広げ、禁煙支援の定期的な情報提供を行っている。業界団体にも働きかけ、広報物への掲載にご協力をいただいている。

【学識経験者】

・青森県は男女共に全体的に喫煙率が高い。喫煙対策の対象は全体に向けてのアプローチも必要ではないか。

(事務局)

・Web 広告等で禁煙を含めた生活習慣改善等について、ポピュレーションアプローチを行っている。広報は非常に重要と捉えているので工夫して地道に取り組んでいきたい。

議題3について、事務局より資料に基づき説明。

●マイナ保険証の利用状況、オンライン電子申請について

【被保険者代表】

・若年層のマイナ保険証の利用率を上げるには、スマートフォンでのマイナ保険証の利用を推進するのが有効ではないか。

(事務局)

・国はスマートフォンのマイナ保険証利用について進めている。医療機関の体制が整い次第、順次利用可能になるため、定着までは多少時間を要すると考えている。

以上

特 記 事 項

- ・傍聴者 マスコミなし
- ・次回開催は令和7年12月予定